



こんにちは、子供の頃、機械いじりが大好きで、母からもらった目覚まし時計をバラバラに分解して、元通りに組み立てたんです。どうしても動かなくなりました、植木守です。

もうすぐ9月です。9月といえば食欲の秋です。食べ物が美味しい季節です。つい美味しさにまかせて食べ続けて「太ってしまった」とならないように気をつけてくださいね。

保険のプロが加わりました

前回の「ほのぼの通信」で少し触れましたが、中央区に事務所を開設いたしました。これに伴って、FP事務所 T・F・C として菅野孝道さんが加わり、2名体制で皆様のサポートをしております。



始めまして、昭和 31 年 7 月生まれ、52 歳の菅野孝道と申します。植木さんと知り合ってから6年ほどになります。たまたま、パソコンのサポートをお願いした事が有り、その頃の植木さんは、保険を始めたばかりでした。もともと

技術屋の植木さんが、保険の代理店に勤めたと聞いて少し心配していましたが、3年ほど前から保険の代理店として独立して、ファイナンシャルプランナーの資格もとって、頑張っていると聞いて安心していました。今回、縁がありまして、植木と一緒に保険の仕事をする事になりました。宜しくお願いいたします。

私は、国内の生命保険会社で 17 年勤務した後に、事業を起して地震の前兆を知らせる「ナマジー」という製品の企画・製造・販売をしています。

最近の生命保険は変わった

以前より生命保険は、生きていく上で無くてはならないもの、役に立つものと感じていました。今回、参加するキッカケになったのは、私がお世話していた保険とは違う外資系の保険が、時代に則した内容だと解かったからです。

こんな時代だから、外資系の保険を扱う意義を感じています。過去の知識に加えて、現在の状況を把握し、世の中が必要としている、新しい保険の仕事をする事は、非常に意味のあることだと考えています。

菅野さんと私は 50:50

今年の 4 月頃、菅野さんから「技術的なフォロー

として私の仕事を手伝って欲しい」との話があり、私は「保険に影響ない範囲でしたら良いですよ」と話した所、「それで良いよ」との返事を頂き 5 月から手伝い始めました。

その後、菅野さんの会社に FP 事務所の看板を出させて欲しいと相談した所、快く「いいよ」との返事を頂きました。そんな中、菅野さんに私の扱っている保険の話をするると、「その内容良いね」と言っていた。軽い気持ちで「やってみますか」と話すと、真剣な目で「時代が求めている保険に感じるのや」と、即決でした。軽く話したつもりが、彼は真剣になっていたのです。

その後彼は、私の扱っている保険内容を猛勉強。今回、準備が整いましたので、皆様にご案内する運びとなりました。つまり、菅野さんの仕事を私が手伝って、私の仕事を菅野さんが手伝う事になり、50:50 (フィフティー、フィフティー) の関係です。

とは言え、17 年間国内の生命保険会社に勤務した菅野さんに学ぶことは多いです。これからも宜しくお願いします。

3 日間だけの独身？

7 月 14 日に友人の H さんと飲みに行ってきました。12 日のお昼頃に電話が来て、彼は「今日から 3 日間独身なんだ」と言うのです。「どうして」と聞くと、「妻と息子がお盆で実家に帰っているんだ」、「植木さんと飲みに行きたくて電話したんだ」と言うのです。彼とはしばらく会っていなかったので「いいですね～行きましょう」と言って 14 日に大通りのピヤガーデンで会う事になりました。電話を置いた後で「面白い人だな」と、新しい発見をしました。

14 日は、「札幌ビール」で 20 時 30 分の待ち合わせ。前の日からの魚釣で完全な寝不足！遅れるのが心配で少し早めに約束の場所に着いていました。待っていると、「いやーしばらくでした！」と H さん、「本当にしばらくだね 1 年ぶりくらいだね」と私。

カンパイ！！

H さんは、北区で歯科医院を営んでいる。話題は、小学校の 5 年生と 3 年生の息子の事になり、「下の子はいつも兄ちゃんのおさがりで、自転車もおさがりで・・・」、「うんうん」と私、「そこで、時計付のスピードメータを付けたんだ」、H さんは二



コニコしながら「おさがりを嫌がる弟だが、気に入って、走り回っているんだ」と言う、「そうだよ、自転車にスピードメータが付いているとすっごく楽しいし、スピードが出るとわくわくするよね」と、私。

「おあがり」って何？

その後、しばらく魚釣りの話しをしていると、突然「この前、おにいちゃんからおあがり came たんだ」「え！おあがりって？」と私。「お兄ちゃんの靴が私に came たんだ」とHさん。「あ～！おさがりの逆のおあがりね」と私。またもや橋本さんはニコニコ顔。そこには、子供の成長を喜ぶ子煩悩なお父さんが居た。Hさんは、二人の子供達の事を本当に大事にして、真正面から向かい合っているんだなと思い、私はほのぼのとした気持ちになっていました。

再開して1時間しか経っていないのに、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまうもの。ビアガーデンの閉店時刻が近づいてきてしまった。

ビールを分けて下さい

ラストオーダーが終わって少したった頃、「すいませーん 500 円でビールを分けてください」と上手な日本語を使い、話しかけてくる同世代の韓国人(たぶん)の男性。「どうしようか」と二人で顔を見合わせ「良いよね！」と、ジョッキーにビールをついで渡す。その人は、「アリガトウゴザイマス」とお礼を言って去って行った。この事で、余りそうだった 3L の樽が空になったのと、国際友好に貢献したので、良いことをと、二人は少し幸せな気分になっていました。もちろん 500 円は頂きました。ビールもなくなり「次に行こうか」と、ビアガーデンを後にしたのでした。

「にゃんこ」が行方不明！

ビアガーデンで、「次は何処にしようか？」とHさん、私は「去年飲んだ時にあなたから聞いた、おかゆ屋さんに行きたいな」と言った。そこは、以前私が勤めていた会社で親しかった“にゃんこ”(ニックネーム)夫妻がやっていて、この前から気になっていたのです。Hさんの記憶をたどりながらおかゆ屋へ・・・「確か二条市場のこの辺なんだけど～」とHさん、あるお店へ入って、出てくると「今年の1月に店を閉めた」と聞き私は残念でならなかった。

その後、生ボーカルの店へ行き、たくさん話しをしてこの日は終了です。帰りの地下鉄の中で、私は、Hさんが電話してくれた事や、子供の話しや、たくさん話した事を思い出していました。Hさん、今日は楽しい時間を有難うございました。



ボーカルの店で

病院選びの重要性とは

今回は、札幌市東区に住まいの川上さんご夫妻のご紹介です。ご主人は75歳、奥様は65歳ですが、とにかく元気で仲の良いご夫婦です。一年に何度もお二人でドライブに出かけるそうです。今年は、6月の中旬から出かけ阪神・中国地方・九州までを約20日間くらいで周って来たそうです。その“パワフル”さには年齢を感じません。凄いと驚いてしまいました。

今回は、奥様“栄子”様の骨折のお話しです。



痛かった

植木さんとのお付き合いは、5年になります。その事件は、今から7~8年前になりますが、左手の腕を骨折してしまっただけです。夕方だったので、近所の病院も閉まって、救急指定の某“麻整形”へ行ったのですが、治療をもらえずに「入院し金具を使う手術になります。今日は先生が居ないので、明日、来てください。」と言われ、痛み止めを渡され帰ってきました。腕は、どんどん痛くなるのです。痛み止めを飲んでも追いつきません。

この事を地方にいる、“看護師”の娘に報告の電話をすると、娘は「ひどい病院だね」と言いながら、「試しに行ってみたら」と、ある病院名を伝えてくれたのです。翌朝、“麻整形”へ行く前にご主人に連れられその病院へ行ってみると、工事現場から帰ったばかりの様なつかい風体の医院長。腕を見ると医院長と助手とレントゲン技師の3人で私の腕を押さえ込み、レントゲンの画面を見ながら、1・2の3で手首を引っっこ抜いて“グリッ”と回す。

私は、“ぎゃー痛いー”と言いたいのを“ググット”こらえる・・・あとは、ギプスをしてその日は終了。

この病院に来て良かった。お蔭様で、手術の痛みも無く、入院のわずらわしさも無く直すことが出来ました。数ヵ月後にはギプスも取れリハビリに通い骨折前の生活に戻れ



仲の良いご夫婦

大変嬉しいです。支払いも含め、病院の違いは大きい。その病院は、北26条東8丁目の「石垣整形外科」です。通院の患者に聞いたら、評判はメチャクチャ良かったです。

この話しは5年前にも聞いていたのですが、改めて病院選びの重要性を認識しました。その後、加入した保険を使うことも無く、健康な毎日を送っているので私も嬉しいです。